

■はじめに

市は昨年6月に完了した「新庁舎建設基本設計」に基づき、「新庁舎建設実施設計」を取りまとめましたので、概要をお知らせします。
今後は、建設工事を発注し、令和5年夏頃に新庁舎の建物を完成させる予定です。



■基本方針

「市民の安全・安心を支える庁舎」

将来にわたり長く使い続ける防災拠点施設として、大地震や水害などのあらゆる災害時においても業務を継続・維持し続け市民の安全・安心を守る

「利用者にやさしい庁舎」

窓口部門を1階に集約配置。誰にも分かりやすい窓口・誰にもやさしいユニバーサルデザインを導入

「経済的・効率的で環境に配慮した庁舎」

建物の中央に設けた吹き抜けから、地域特有の風を利用した自然通風と自然採光により省エネルギーを推進

■スケジュール

年度	R2	R3	R4	R5	R6
設計	実施設計				
0期		附属建物一部解体			
1期		新庁舎・倉庫棟建設	現庁舎解体	★開庁	
2期					外構整備

■概要

- ・ 建築面積：約 3,700 ㎡
 - 新庁舎：約 3,400 ㎡
 - 倉庫棟：約 300 ㎡
- ・ 延床面積：約 1 万 1,700 ㎡
 - 新庁舎：約 1 万 1,250 ㎡
 - 倉庫棟：約 450 ㎡
- ・ 規模：地上 4 階
- ・ 構造：鉄筋コンクリート造、免震構造

■概算事業費

概算事業費：約 81.7 億円

【内訳】

- ・ 工事費：約 70.85 億円
（新庁舎建設工事、現庁舎等解体工事など）
- ・ 調査設計関連費：約 6.86 億円
（測量・地質調査、設計・監理など）
- ・ その他：約 4 億円
（備品・移転費など）

■付近見取図



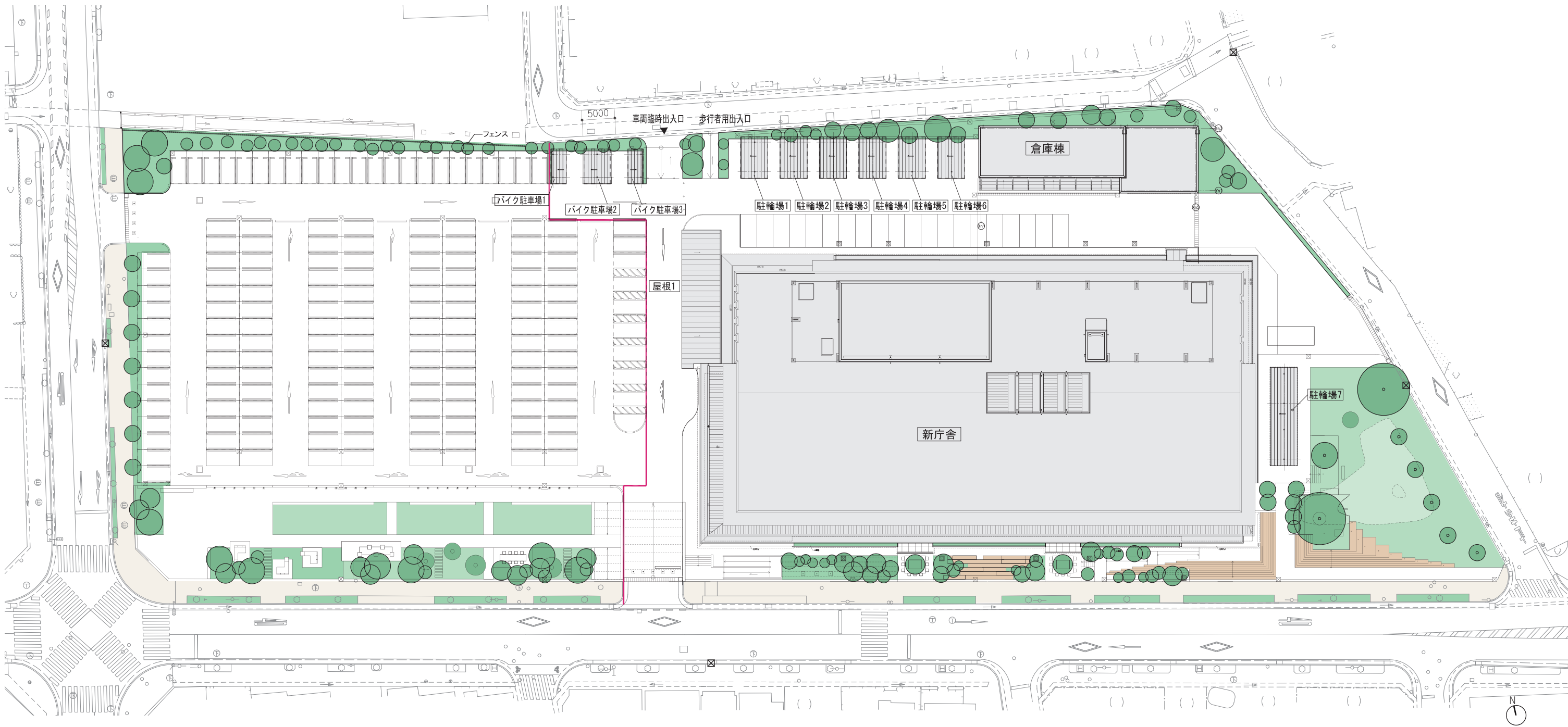
■外観イメージ



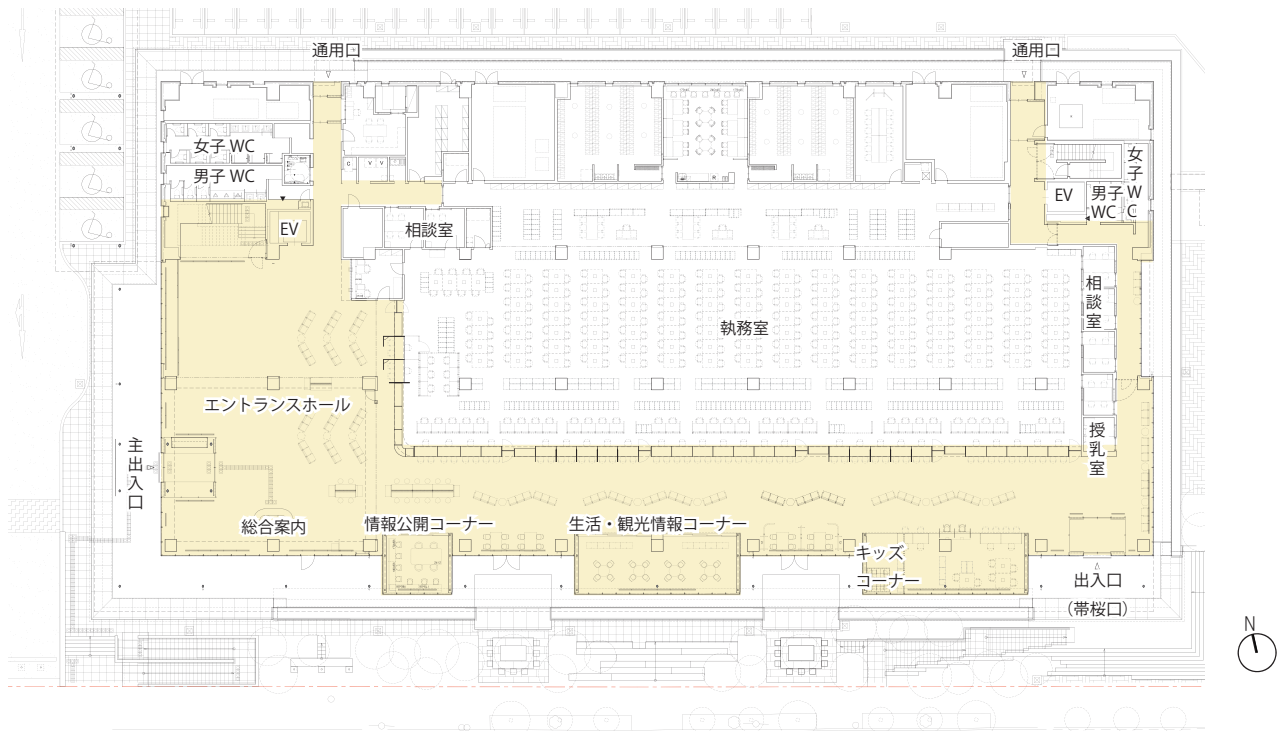
■配置計画

- ・新庁舎は現庁舎東側（現駐車場）に建設します。
- ・駐車場は敷地西側に一般駐車場 約 160 台、北東側に公用車駐車場 約 25 台を設けます。

■配置図 1/600

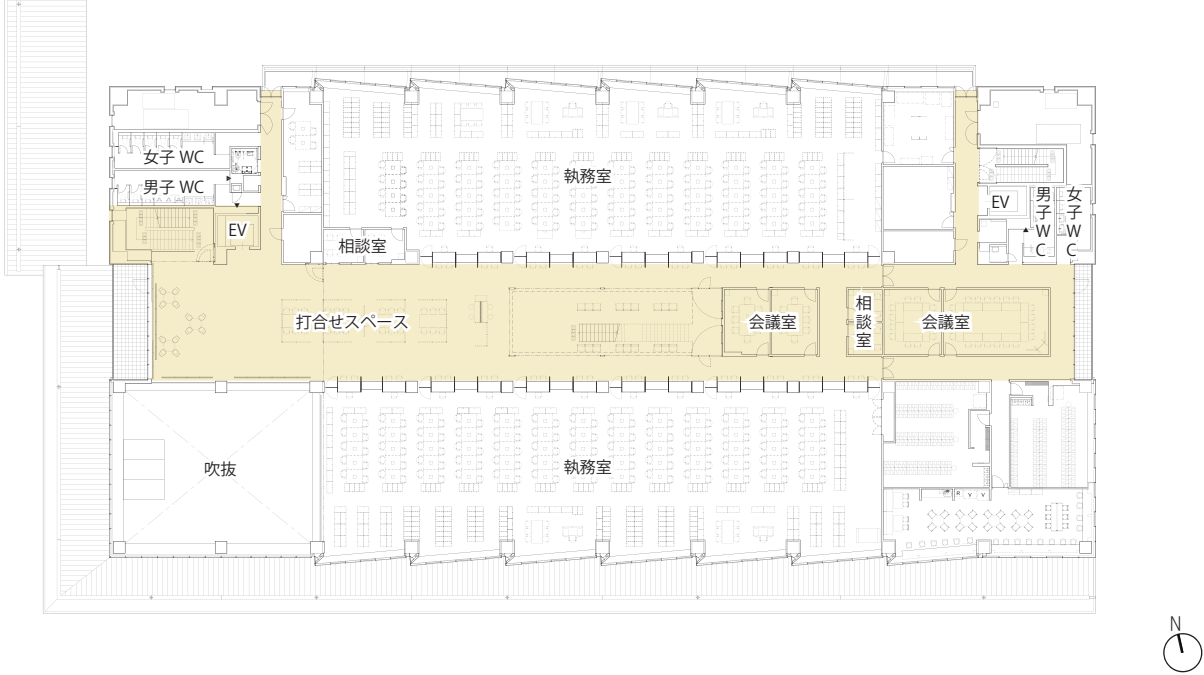


■1階 平面図 1/600



- ・1階には、多くの来庁者が訪れるため、開放的なエントランスホール内に総合案内を設けるとともに、市民の利用が多い窓口を配置します。
- ・来庁者の個人情報・プライバシーの確保に配慮した相談室や、間仕切りのある窓口カウンターなどを整えます。
- ・来庁者の利便性・快適性向上のため、キッズスペースと授乳室を設置します。

■2階 平面図 1/600



- ・2階には、執務室を南北に配置。共用部からの見通しを良くすることで、市民サービスの向上と事務の効率化を図ります。
- ・フロア中央に階段室を兼ねた吹き抜け（コミュニケーションボイド）を設けることで、自然通風と自然採光を確保。環境への配慮と省エネルギーを推進します。

■内観イメージ

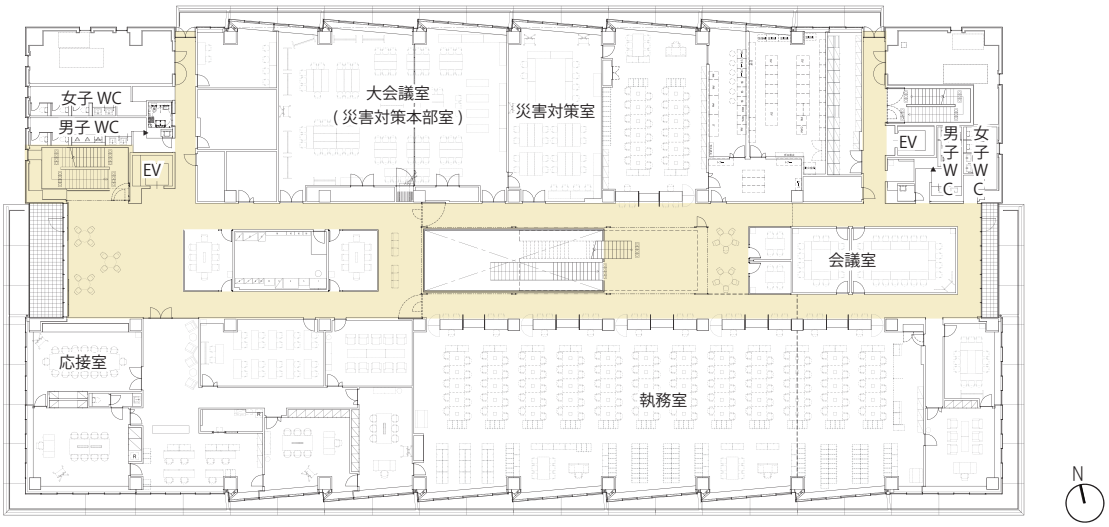


エントランスイメージ



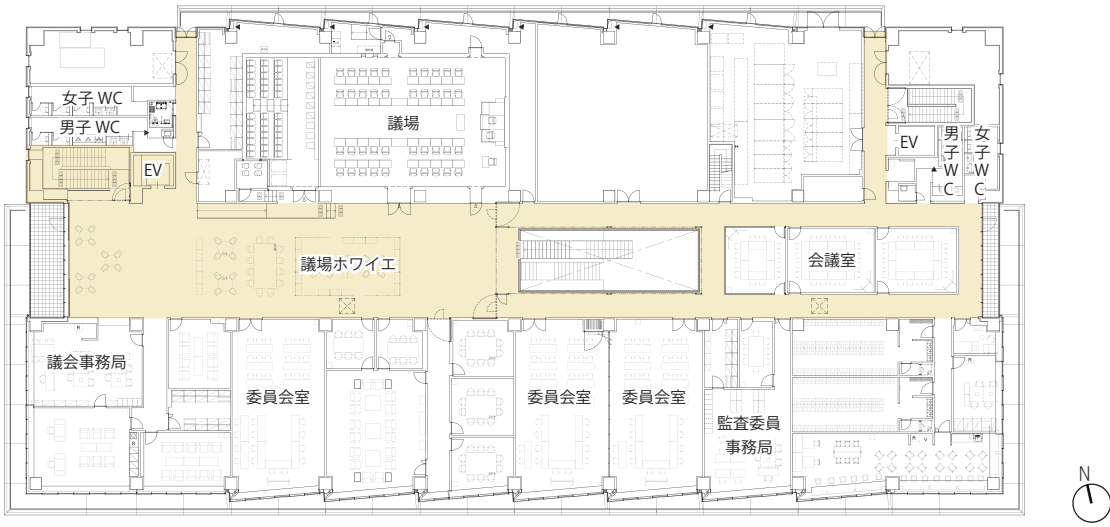
吹き抜けイメージ

■3階 平面図 1/600



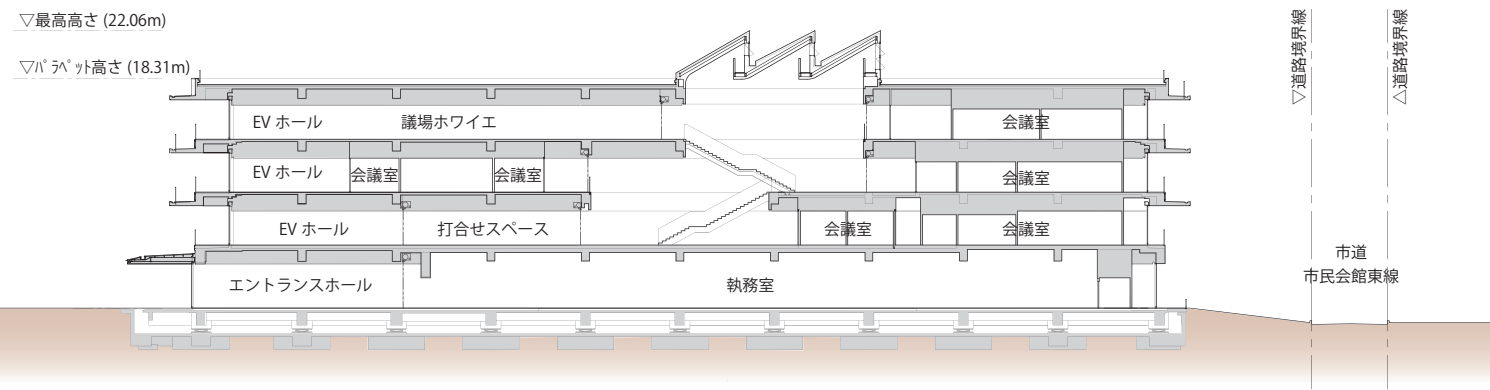
- ・3階には執務室のほか、災害対策室や防災無線室など、迅速に災害対策を行うことができる機能を配置します。

■4階 平面図 1/600



- ・4階には、主に議会の機能を配置します。
- ・議場の傍聴席は、一般席と車いす席のほか、防音対策を施した親子傍聴席を設置します。

■断面図 1/600



- ・新庁舎では、大規模地震が発生しても被害を抑え、市役所としての業務継続を図ることを目的に免震構造を採用します。また、千年に一度の確率の浸水想定をクリアするため、1階のフロアレベルを敷地面から50 cm嵩上げします。